

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年2月13日
【四半期会計期間】	第35期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	株式会社アミューズ
【英訳名】	AMUSE INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 島中 達郎
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区桜丘町20番1号
【電話番号】	(03)5457-3333
【事務連絡者氏名】	代表取締役専務取締役 齊藤 泰幸
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区桜丘町20番1号
【電話番号】	(03)5457-3333
【事務連絡者氏名】	代表取締役専務取締役 齊藤 泰幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第34期 第3四半期連結 累計期間	第35期 第3四半期連結 累計期間	第34期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
営業収入(千円)	24,827,660	25,642,325	31,776,228
経常利益(千円)	2,827,596	3,788,233	3,438,318
四半期(当期)純利益(千円)	1,607,933	2,268,919	1,930,321
四半期包括利益又は包括利益(千円)	1,646,788	2,322,661	1,951,198
純資産額(千円)	13,527,456	15,394,366	13,435,382
総資産額(千円)	22,518,643	24,871,507	21,588,476
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	174.07	256.15	210.41
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	58.5	60.4	60.7
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	3,292,875	1,014,672	3,752,148
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	275,165	2,078,431	891,086
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	213,423	370,363	610,945
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	8,578,427	6,592,081	8,026,411

回次	第34期 第3四半期連結 会計期間	第35期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	69.21	123.15

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 営業収入には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や各種政策効果により、緩やかな回復基調で推移していましたが、欧州債務危機や中国経済の減速懸念に加え、不安定な為替動向など、先行きは依然不透明な状態が継続しております。

当第3四半期連結累計期間の主な事業概況につきまして、営業収入は、当社アーティストによるコンサート、出演や演出を手がける舞台公演など付随するグッズ販売も含め、ライブエンターテインメント活動を積極的に展開し好調であり主要な増収要因となりました。

営業利益につきましては、上記ライブエンターテインメント活動が好調であり、特に舞台公演の規模や稼働率が大幅に上昇したことに加え、新譜CD発売による印税収入や音楽DVD販売実績が好調に推移したことなどにより増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は営業収入256億4千2百万円（前年同四半期比3.3%増）、営業利益36億9千万円（前年同四半期比28.8%増）、経常利益37億8千8百万円（前年同四半期比34.0%増）、四半期純利益22億6千8百万円（前年同四半期比41.1%増）と好調に推移いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 〔アーティストマネージメント事業〕

当事業につきましては、桑田佳祐、福山雅治、ポルノグラフィティ、Perfume、flumpoolなどのコンサートや、地球ゴージャス、TEAM NACSなど所属アーティストが出演や演出を手がける舞台公演やグッズ販売など、ライブエンターテインメント活動を積極的に展開し好調でありました。なかでも、舞台公演の規模や稼働率が大幅に上昇し、主要な増益要因となりました。さらに、桑田佳祐のアルバム発売による印税収入や、福山雅治ライブDVDの販売、多様なアーティストによるCM収入も好調に推移いたしました。

この結果、営業収入205億6千8百万円（前年同四半期比8.4%増）、セグメント利益36億5千3百万円（前年同四半期比33.0%増）となりました。

#### 〔メディアビジュアル事業〕

当事業につきましては、DVD販売におきまして、洋画「三銃士/王妃の首飾りとダ・ヴィンチの飛行船」、佐藤健主演邦画「るろうに剣心」、吉高由里子出演邦画「カイジ2～人生奪回ゲーム～」、大泉洋主演邦画「しあわせのパン」などの作品が堅調でありましたが、前年同四半期に比べヒット作品が少なかったことにより減収減益となりました。

この結果、営業収入34億7千5百万円（前年同四半期比19.1%減）、セグメント利益1億5千7百万円（前年同四半期比50.4%減）となりました。

#### 〔コンテンツ事業〕

当事業につきましては、サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfumeなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用による印税収入でありましたが、Perfumeのベストアルバム発売があり好調であったことや、著作権印税、原盤印税なども堅調でありました。

この結果、営業収入15億9千8百万円（前年同四半期比3.2%増）、セグメント利益4億4千7百万円（前年同四半期比10.6%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は65億9千2百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億3千4百万円の減少となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

< 営業活動によるキャッシュ・フロー >

営業活動の結果獲得した資金は10億1千4百万円（前年同四半期は32億9千2百万円の獲得）となりました。

これは、主に営業債権の増加及び法人税等の支払額に伴う資金減少要因等はありませんが、税金等調整前四半期純利益及び営業債務の増加に伴う資金増加要因等が上回ったことによるものであります。

< 投資活動によるキャッシュ・フロー >

投資活動の結果使用した資金は20億7千8百万円（前年同四半期は2億7千5百万円の使用）となりました。

これは、主に定期預金の預入による支出及び子会社株式の取得による支出に伴う資金減少要因等によるものであります。

< 財務活動によるキャッシュ・フロー >

財務活動の結果使用した資金は3億7千万円（前年同四半期は2億1千3百万円の使用）となりました。

これは、主に配当金の支払額及び少数株主への配当金の支払額に伴う資金減少要因等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	37,247,040
計	37,247,040

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,311,760	9,311,760	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	9,311,760	9,311,760	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日	-	9,311,760	-	1,587,825	-	1,694,890

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 453,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,611,400	86,114	-
単元未満株式	普通株式 246,460	-	-
発行済株式総数	9,311,760	-	-
総株主の議決権	-	86,114	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の「株式数」欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アミューズ	東京都渋谷区桜丘町 20番1号	453,900	-	453,900	4.87
計	-	453,900	-	453,900	4.87

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
常務取締役	第5・第6・第7マネージメント部、番組制作部、マネージメント情報管理部、映像製作部所管	取締役	第5・第6・第7マネージメント部、番組制作部、マネージメント情報管理部、映像製作部所管	市毛 るみ子	平成24年10月1日
常務取締役	第1・第2・第3・第4マネージメント部、第1・第2CS事業部、デジタルビジネス事業部、ライツマネージメント部、シンガポール支店所管	取締役	第1・第2・第3・第4マネージメント部、第1・第2CS事業部、デジタルビジネス事業部、ライツマネージメント部所管	相馬 信之	平成24年10月1日

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,544,866	9,110,521
受取手形及び営業未収入金	3,754,847	6,816,015
商品及び製品	1,054,509	1,210,998
仕掛品	1,004,945	1,001,340
貯蔵品	51,008	44,025
その他	1,630,348	1,291,425
貸倒引当金	317,520	394,464
流動資産合計	15,723,004	19,079,862
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,054,136	999,158
土地	1,760,487	1,760,487
その他(純額)	96,209	84,156
有形固定資産合計	2,910,834	2,843,802
無形固定資産		
投資その他の資産	237,568	209,805
投資有価証券	840,928	882,385
その他	1,885,460	1,866,136
貸倒引当金	9,319	10,485
投資その他の資産合計	2,717,069	2,738,036
固定資産合計	5,865,471	5,791,644
資産合計	21,588,476	24,871,507



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	4,859,188	6,828,138
未払法人税等	1,196,386	667,838
役員賞与引当金	35,200	-
返品調整引当金	26,460	15,000
その他	1,012,207	889,868
流動負債合計	7,129,442	8,400,845
固定負債		
退職給付引当金	831,750	888,987
役員退職慰労引当金	16,472	16,472
その他	175,429	170,836
固定負債合計	1,023,651	1,076,296
負債合計	8,153,093	9,477,141
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,587,825	1,587,825
資本剰余金	1,694,890	1,694,890
利益剰余金	10,472,808	12,387,398
自己株式	476,255	478,961
株主資本合計	13,279,267	15,191,151
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,918	5,089
為替換算調整勘定	182,198	182,520
その他の包括利益累計額合計	178,280	177,431
少数株主持分	334,394	380,646
純資産合計	13,435,382	15,394,366
負債純資産合計	21,588,476	24,871,507

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業収入	24,827,660	25,642,325
営業原価	19,395,540	19,358,716
営業総利益	5,432,120	6,283,608
返品調整引当金戻入額	11,860	11,460
差引営業総利益	5,443,980	6,295,068
販売費及び一般管理費	2,578,126	2,604,252
営業利益	2,865,853	3,690,816
営業外収益		
受取利息	4,696	7,044
受取配当金	2,393	1,856
持分法による投資利益	9,349	28,099
為替差益	-	51,786
受取手数料	10,018	11,231
その他	2,448	2,806
営業外収益合計	28,906	102,826
営業外費用		
事業組合投資損失	28,941	4,124
為替差損	30,839	-
その他	7,382	1,284
営業外費用合計	67,163	5,408
経常利益	2,827,596	3,788,233
特別利益		
投資有価証券売却益	-	3,250
特別利益合計	-	3,250
特別損失		
投資有価証券評価損	-	24,600
特別損失合計	-	24,600
税金等調整前四半期純利益	2,827,596	3,766,882
法人税、住民税及び事業税	1,213,491	1,459,178
法人税等調整額	48,528	14,108
法人税等合計	1,164,963	1,445,070
少数株主損益調整前四半期純利益	1,662,633	2,321,812
少数株主利益	54,699	52,893
四半期純利益	1,607,933	2,268,919

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,662,633	2,321,812
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	1,171
為替換算調整勘定	15,809	322
その他の包括利益合計	15,844	848
四半期包括利益	1,646,788	2,322,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,592,089	2,269,768
少数株主に係る四半期包括利益	54,699	52,893

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,827,596	3,766,882
減価償却費	158,803	155,645
貸倒引当金の増減額(は減少)	46,684	78,110
役員賞与引当金の増減額(は減少)	20,660	35,200
返品調整引当金の増減額(は減少)	11,860	11,460
退職給付引当金の増減額(は減少)	45,068	57,237
受取利息及び受取配当金	7,089	8,901
持分法による投資損益(は益)	9,349	28,099
事業組合投資損益(は益)	28,941	4,124
投資有価証券売却損益(は益)	-	3,250
投資有価証券評価損益(は益)	-	24,600
営業債権の増減額(は増加)	1,526,203	3,061,168
たな卸資産の増減額(は増加)	234,059	145,901
営業債務の増減額(は減少)	2,422,275	1,968,950
未払消費税等の増減額(は減少)	59,960	132,015
その他の流動資産の増減額(は増加)	95,031	305,689
その他の流動負債の増減額(は減少)	176,243	17,848
その他	35,362	50,117
小計	4,294,075	2,967,514
利息及び配当金の受取額	4,248	5,489
法人税等の支払額	1,005,448	1,976,970
法人税等の還付額	-	18,639
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,292,875	1,014,672
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	2,000,000
有形固定資産の取得による支出	19,580	16,724
有形固定資産の売却による収入	8,279	-
無形固定資産の取得による支出	38,482	19,805
投資有価証券の取得による支出	216,200	15,550
投資有価証券の売却による収入	9,487	14,250
子会社株式の取得による支出	14,551	31,590
貸付けによる支出	2,500	86,074
貸付金の回収による収入	3,955	83,045
その他	5,571	5,981
投資活動によるキャッシュ・フロー	275,165	2,078,431
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	495	2,705
自己株式の売却による収入	105	-
配当金の支払額	182,439	352,784
少数株主への配当金の支払額	15,786	6,642
その他	14,808	8,230
財務活動によるキャッシュ・フロー	213,423	370,363
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,466	207
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,794,820	1,434,329
現金及び現金同等物の期首残高	5,783,607	8,026,411
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,578,427	6,592,081

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
現金及び預金勘定	8,596,596千円	9,110,521千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	18,168	2,518,440
現金及び現金同等物	8,578,427	6,592,081

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月26日 定時株主総会	普通株式	92,372	10	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金
平成23年11月14日 取締役会	普通株式	92,369	10	平成23年9月30日	平成23年12月5日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月24日 定時株主総会 (注)	普通株式	221,463	25	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金
平成24年11月13日 取締役会	普通株式	132,866	15	平成24年9月30日	平成24年12月5日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額の内訳 普通配当 10円 記念配当 15円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アーティスト マネジメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	計		
営業収入						
外部顧客への 営業収入	18,982,076	4,297,244	1,548,340	24,827,660	-	24,827,660
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	38,632	256,235	115,888	410,755	410,755	-
計	19,020,708	4,553,479	1,664,228	25,238,416	410,755	24,827,660
セグメント利益	2,747,576	316,670	404,731	3,468,978	603,125	2,865,853

(注)1. セグメント利益の調整額 603,125千円には、セグメント間取引消去6,618千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 609,743千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アーティスト マネジメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	計		
営業収入						
外部顧客への 営業収入	20,568,066	3,475,709	1,598,549	25,642,325	-	25,642,325
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	46,582	347,547	70,199	464,328	464,328	-
計	20,614,648	3,823,256	1,668,748	26,106,653	464,328	25,642,325
セグメント利益	3,653,361	157,010	447,573	4,257,945	567,129	3,690,816

(注)1. セグメント利益の調整額 567,129千円には、セグメント間取引消去17,158千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 584,288千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	174円07銭	256円15銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,607,933	2,268,919
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,607,933	2,268,919
普通株式の期中平均株式数(株)	9,237,049	8,857,801

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年11月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....132,866千円

(ロ) 1株当たりの金額.....15円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成24年12月5日

(注) 平成24年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行っております。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月13日

株式会社アミューズ  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 百井 俊次 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 米村 仁志 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アミューズの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アミューズ及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。